

円を返還すべきと指摘を受けた。その内容は、光ファイバーケーブルを架空配線するための自立柱を建てたが、その地中部に設置する計画の根柢と底板が一切設置されていなかった。これは事業費6百14万1千9百99円の内、総務省の交付金額である。

問 業者に支払いは終わっているのか。

答 全て支払っている。業者の実績報告書も、やっていないにもかかわらずやったかのような報告書で、業者に負担を求めて行く。

問 負担を求めめる額は。

答 事業費6百13万1千9百99円。

問 工事の完成検査で見つけられなかったのか。

答 書面でもそういうふうに上がって来ていたし、冬場の工事で中を確認できなかった。

問 写真は付いてなかったのか。

答 見通せなかった。

問 後での不都合などは、クレームの対象になるのか。

答 2年間の補償期間は既に経過している。業者で一斉

点検をした。

問 全てを掘り返し、やり直しをさせる権利はあるのではないか。

答 今後の交渉の中で、そういったことも主張していかなくてはと考えている。

第10回 12月16日

・平成25年幌延町教育事務の管理及び執行の状況に係る点検・評価について

○点検評価の趣旨

平成19年「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、教育行政事務の管理及び執行状況について点検評価し、議会に提出、公表することと規定された。

14項目40の事業内容について、評価した。

問 特別支援学級の状況は。

答 4学級に分け、5名の教員が配置されている。

問 幌延スキー場の圧雪車の状態は。

答 何とかしようしているが、だましだまし使っている現状で、今後このような形で行かざるを得ないと思われる。

議会の動き



- 10月10日 ▶ 第59回議会報発行特別委員会
- 10月14日 ▶ 第60回議会報発行特別委員会
- 10月22日 ▶ 第61回議会報発行特別委員会
- 11月7日 ▶ 第8回産業厚生常任委員会
- 11月7日 ▶ 第9回総務文教常任委員会
- 11月7日 ▶ 第10回全員協議会
- 11月11日～13日 ▶ 第58回全国町村議会議長全国大会(東京都)
- 11月14日 ▶ 北留萌消防組合議会(羽幌町)
- 11月26日～28日 ▶ 産業厚生常任委員会委員道外研修(東京都)
- 12月1日 ▶ 第8回議会運営委員会
- 12月5日 ▶ 第8回幌延町議会臨時会
- 12月16日 ▶ 第9回議会運営委員会
- 12月16日 ▶ 第10回総務文教常任委員会
- 12月16日 ▶ 第11回全員協議会
- 12月16日 ▶ 第62回議会報発行特別委員会
- 12月18日 ▶ 第10回議会運営委員会
- 12月25日 ▶ 第9回幌延町議会定例会
- 1月9日 ▶ 第1回産業厚生常任委員会
- 1月9日 ▶ 第63回議会報発行特別委員会

町民と議員の意見交換より PART3

| 身体介助 | | 生活支援 | |
|--------|-----------|---|-----------|
| 状況視察 | | 状況視察 | |
| 排泄介助 | オムツ、トイレ等 | 買物 | 同行、依頼等 |
| 体位交換 | | 調理 | 煮炊、配膳、片付等 |
| 移動介助 | ベッド、歩行等 | 掃除 | |
| 衣類着脱 | 全部、一部、見守り | 洗濯 | 洗い、干し等 |
| 整容 | 洗面、爪等 | 寝具 | 整頓、メイク等 |
| 食事介助 | 全部、一部、見守り | 金銭 | 同行、見守り等 |
| 水分補給 | | 確認 | 火元、安全 |
| 入浴介助 | 全身、部分 | 薬 | 投薬、配薬 |
| 清拭 | 全身、部分 | ※ヘルパーのサービス内容についてのご意見がありましたので、確認した結果、表のとおり内容となっています。 | |
| 身体運動介助 | リハビリ、散歩等 | | |
| 付添介助 | 通院、外出 | | |
| 服薬介助 | 服薬、塗布等 | | |

編集後記

年も改まり、丑年から未年にバトンタッチされた。先日、NHKを見てみると、十二支というのは本来、植物が種を植えてから成長し、実が出来るまでを表したものとのこと。ただ、昔の人は文字を読めない人が多かったので、その文字に動物を当てはめたのが、十二支の始まりではないかと放送されていた。その中で、未は成長半ばを表しているといっていた。我が町も首長が変わり、町の5カ年計画も後期半ばに入るが、新しい町長がどう舵を切っていくのが注目される。

私達議会報編集委員の任期も、残すところあと3カ月余りとなった。町の皆様に「議会だより」を身近に感じていただけるよう、研鑽努力をしてきたが、議会の真意が十分に伝わっているのか、自問自答している。残りわずかだが、もう一頑張りしたい。

編集委員長 鷲見 悟
副編集委員長 斎賀 弘孝
編集委員 西澤 裕之
 吉原 哲男